

応用物理学会

第70回春季学術講演会シンポジウム



# 「イオンビーム分析の最新動向」

## Latest Trends in Ion Beam Analysis

イオンビーム分析は、大型の加速器を用いて発生させた高エネルギーのイオンを用いた分析が一般であるが、近年は、低エネルギーのイオンを用いた表面分析技術も進展している。高エネルギーイオンを用いた分析の最新動向に加え、低エネルギーイオンを用いた有機材料分析の最新成果についての講演を実施し議論します。

2023 **3.17** (金) **14:00-17:10**

上智大学 四谷キャンパス A304 (6号館) (ハイブリッド開催)

### 招待講演

木下 哲一 | 清水建設

加速器質量分析による同重体分離・検出限界へのチャレンジから  
天文学研究へ

及川 将一 | 量子医科学研究所

QST量医研静電加速器施設におけるマイクロPIXE/PIGE分析の動向

小北 哲也 | 東レリサーチセンター

産業界でのイオンビーム分析の活用状況

松尾 二郎 | 京都大学

50年を迎えるイオンビーム分析技術のこれから

Stefan Facsko | Helmholtz-Zentrum Dresden

Transnational Access to European Ion Beam Centers:

RADIATE and ReMade@ARI

#### 企画

薄膜・表面物理分科会「イオンビームによる表面・界面の解析と改質」特別研究会

#### 世話人

瀬木 利夫 (京都大学)・鈴木 拓 (NIMS)・土田 秀次 (京都大学)・山形 武靖 (東京大学)

#### 問い合わせ先

seki.toshio.7r@kyoto-u.ac.jp